

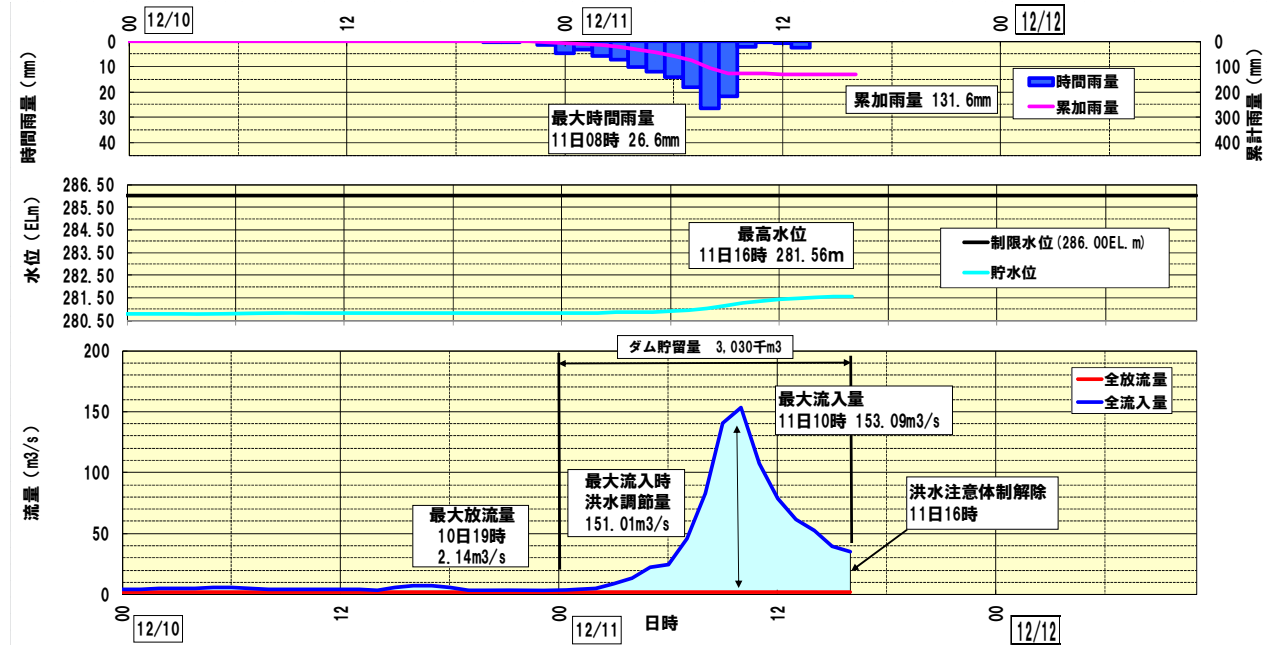
相模川水系 宮ヶ瀬ダム^{みやがせ}の効果 (平成27年12月10日 低気圧)

- 低気圧に伴う降雨で宮ヶ瀬ダム上流域において、時間最大雨量が26.6 mm、累加雨量131.6 mmとなりダムへの最大流入量は153.09 m³/sに達しましたが、ダムに151.01 m³/sを貯留することにより放流量を2.08 m³/sに抑えました。
- 今回の降雨による洪水において、約3,030 千m³ (東京ドーム 2.4 杯分) の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図りました。
- ダム下流の才戸橋地点 (厚木市三田付近) では、56 cm の水位を低減させる効果があったものと推測されます。

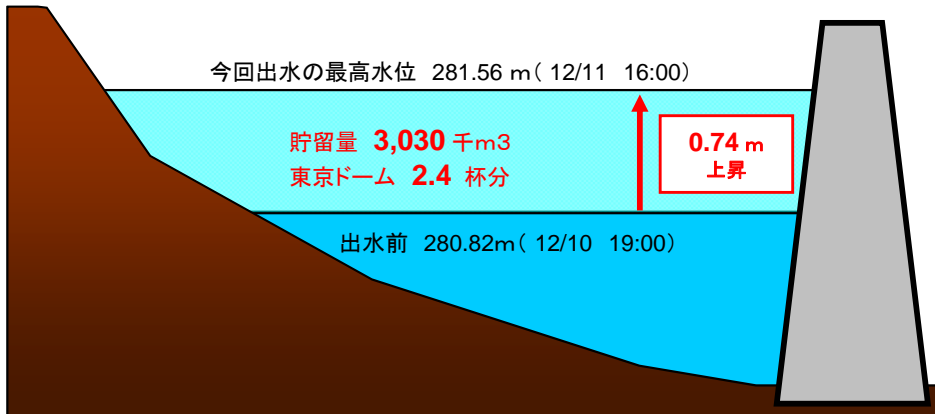
宮ヶ瀬ダム・才戸橋 位置図



洪水調節状況



台風による洪水のダムへの貯留(模式図)



宮ヶ瀬ダムの洪水調節効果(才戸橋)



*ダムがなかった場合の水位は、ダム地点の調節量をダム下流の中津川才戸橋地点の水位低減量に換算しています。